

窓辺をかえる、明日が変わる。

# TOSO

## 株主・投資家の みなさまへ

第76期（2016年3月期）  
中間期のご報告

2015年4月1日～2015年9月30日

## トーソー株式会社

（東証2部 証券コード：5956）





## ポイント

- 市場全体が低調に推移した結果、減収減益となるものの、安定配当を維持する基本方針に沿い、前期同様の中間配当を決定。
- 期末配当についても、1株につき5円を予定

## 1 第76期 (2016年3月期) 中間期の事業概況

平素は格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

おかげさまで、当社は2015年9月30日をもって第76期 (2016年3月期: 2015年4月1日から2016年3月31日) の中間期を終了いたしましたので、ここに事業の概況と今後の諸施策につきましてご報告申し上げます。

今後とも株主の皆様の一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 **大槻保人**

当中間期 (2015年4月1日～2015年9月30日) のわが国経済は、雇用情勢や企業収益の改善が進むなか、消費増税後の反動減も一巡したことで緩やかな回復基調が続きましたが、個人消費や設備投資は力強さに欠け、本格的な景気回復を実感できない状況でした。当社グループの業績に影響の大きい住宅市場においても、新設住宅着工戸数はようやく前年同月を上回る水準となりましたが、戸建て住宅の回復が遅れていることなど、厳しい事業環境となりました。

このような状況の下、当社グループでは主力製品であるカーテンレールの新製品を中心にプロモーションを強化するとともに、リフォーム市場や非住宅分野への販路拡大など積極的な営業活動を展開しました。しかしながら、窓装飾品の市場全体が低調に推移したことに

より、当中間期の売上高は前年同期を4.4%下回る10,366百万円となりました。尚、台風18号による鬼怒川堤防の決壊により、協力工場が水害に見舞われたことで、一部の製品が生産できない状況となりました。現在は復旧いたしました。お得意先様に変なご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後は再発防止を図ってまいります。

利益面では、販売関連費用を増額した一方で、物流関連費用や人件費の抑制などに取り組みましたが、売上高の減少により営業利益、経常利益とも前年同期を大幅に下回りました。また、水害に伴う特別損失を計上したことで、親会社株主に帰属する四半期純損益については68百万円の損失となりました。

売上高

**10,366**百万円

営業利益

**52**百万円

経常利益

**51**百万円

CONTENTS  
目次

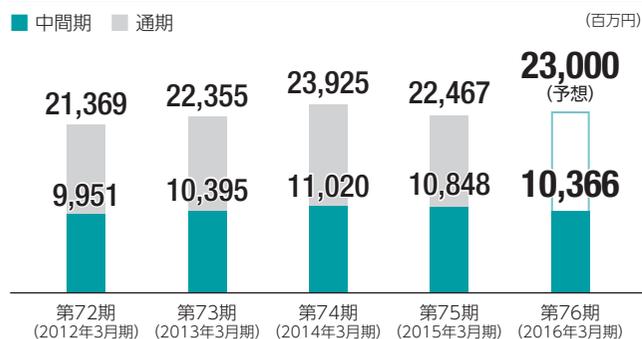
トップメッセージ	1
当中間期のセグメント別営業概況	3
特集	5
TOPICS	7
株主優待/株主配当	8
連結財務諸表 (要旨)	9
会社概要/株式情報	10

## 2 第76期（2016年3月期）の見通し

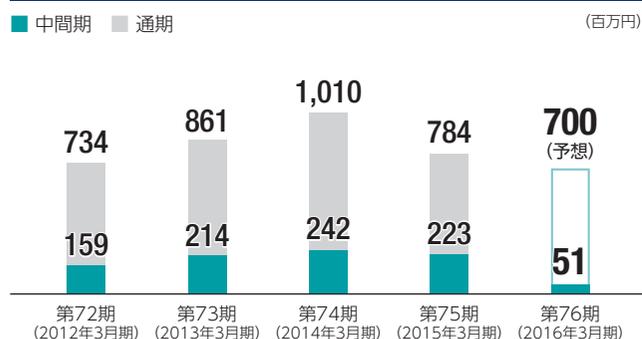
各種経済政策の効果などにより景気は緩やかな回復基調が続くものと思われませんが、10月に発覚したマンション傾斜問題は、今後、建設業界全体に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。また、世界経済の減速や円安による輸入原材料価格の高騰などもあり、当社グループを取り巻く事業環境は不透明な状況が続くと予想されます。今後も市場ニーズを的確に捉え、また、ユーザーの目

線に立った魅力的な製品を提供していくことで売上増進を図るとともに、原価低減や生産性向上によって収益力の改善と財務体質の強化を進めてまいります。中間期の業績および事業環境を鑑み、当初の業績見通しの修正をおこないました。売上高23,000百万円、営業利益720百万円、経常利益700百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益300百万円を見込んでいます。

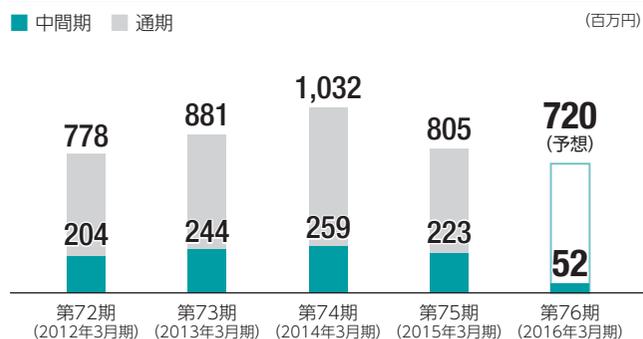
### 売上高



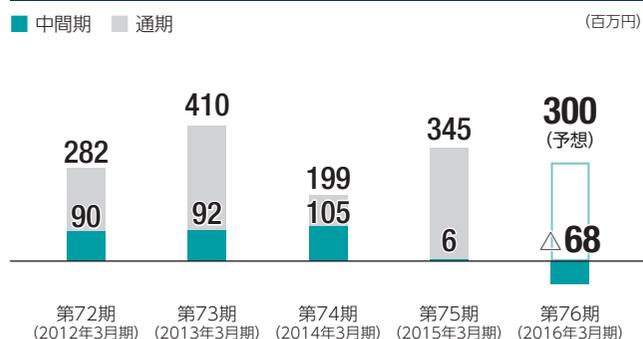
### 経常利益



### 営業利益



### 親会社株主に帰属する四半期純損益



## 3 当期の配当金について

中間配当につきましては、安定配当を維持する基本方針に沿って前期同様に1株につき5円とさせていただきます。期末配当につきましても同様に1株につき5円、年間10円を予定しております。当期は減益を見込んでおりますが、売上高を上昇基調とし、企業体質の改善を進めることで収益性を高めていく必要があると認識しています。今後も経営計画の着実な実行を通じて、多くの投資家の皆様に魅力を感じていただける企業になるよう努力してまいります。皆様からの一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

### 第76期(2016年3月期) 配当について

中間配当金

5円

期末配当金

5円 (予定)

合計 (年間)

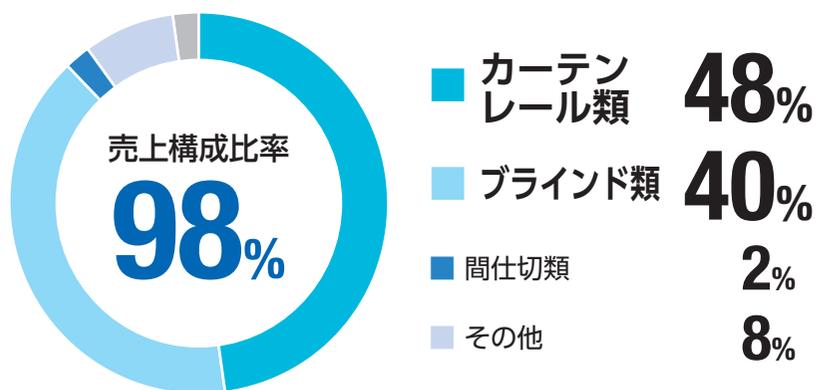
10円 (予定)



詳細な決算説明を動画で公開しています。是非ご覧ください。

# 当中間期のセグメント別営業概況

## 室内装飾関連事業



### 事業内容

国内シェアNo.1のカーテンレールを中心に、ブラインド、ロールスクリーン等の窓装飾品や室内間仕切類などを開発・製造・販売しています。



カーテンレール類 (装飾性カーテンレール)



ブラインド類 (木製ブラインド)



間仕切類 (パネルドア)

売上高

**101.86** 億 百万円

セグメント利益

**47** 百万円



### 当中間期の営業概況

室内装飾関連事業の業績に影響の大きい住宅関連市場は、低迷していた新設住宅着工戸数に持ち直しの動きが見られましたが、本格的な回復までには至っておらず、また、円安による輸入原材料価格の上昇などもあり、取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

こうした市場環境のなか、当社グループはデザイン性や機能性、安全性の高い製品の開発に積極的に取り組みましたが、住宅市場の回復遅れや水害による販売機会の喪失などにより、売上高は前年同期を下回りました。

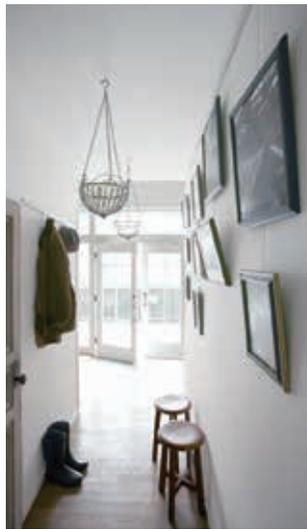
製品面では、装飾性カーテンレールの主力製品である「レガート」シリーズに近時のトレンドであるアンティークな風合いをプラスした「レガートグラン」を追加したほか、DIYから美術館などの大型施設まで幅広い用途に対応すべく、ピクチャーレールのラインナップ強化などをおこないました。

セグメント利益は、原価低減活動や生産性の向上などを継続的に推進し、収益改善に努めてまいりましたが、売上高の減少により減益となりました。

カーテンレール  
60年以上にわたり  
国内シェア  
No.1



7月発売新製品 装飾性カーテンレール「レガートグラン」



製品ラインナップを強化した  
ピクチャーレール



近時のデザインや素材感を取り入れた  
スクリーン  
(上：ロールスクリーン、  
下：プリーツスクリーン)

## その他の事業

### 事業内容

ステッキを中心とした介護関連用品を開発・販売しております。そのほか、グループの物流事業請負業務をおこなっています。



※ 事業セグメントについて：

- ①第72期（2012年3月期）よりセグメントの一部を変更し、従来「その他の事業」に含まれていたプラスチックチェーン等の仕入販売を「室内装飾関連事業」に変更しました。
- ②「その他の事業」に含まれていたグループ保険代理業は事業譲渡により2015年3月に解散いたしました。

売上高

1億80百万円

セグメント利益

5百万円



### 当中間期の営業概況

ステッキを中心とした介護関連用品の販売活動を強化し、新製品のプロモーションや新規開拓活動を積極的に推進した結果、売上高・セグメント利益共に前年同期を上回りました。

## 特集 ～当社のカーテンレールへのこだわり～

カーテンを開閉する時、普段何気なく使用しているカーテンレール。当社は1949年の設立以来、国内シェアNo.1を維持し続けています。そこには、インテリアとしてのデザインに加え、快適に使用していただくためのさまざまな機能や工夫など、過去から現在にわたり培ってきた技術やノウハウが詰め込まれています。当社は、これからもカーテンレールのパイオニアとして常に新しい付加価値の創造を目指してこだわりのある提案を続けていきます。

### カーテンレールの種類

カーテンレールは目的や用途により『装飾性カーテンレール』と『機能性カーテンレール』の2種類に分けられます。インテリアとしてのデザイン性や室内空間との調和などを重視した『装飾性カーテンレール』は、主に住宅のリビングや寝室などで使用され、意匠性の高いキャップやブラケット（取付金具）が特徴的で、色や素材もさまざまです。操作性や施工性などに配慮した『機能性カーテンレール』は学校や病院などの施設で使用されるのが一般的ですが、最近では、表面に木目調のフィルムを貼付することで住宅向けに使用されるケースも増えています。

### 装飾性カーテンレール



当社の製品シリーズは30種類以上。カラーとキャップにより250種類以上の組み合わせが可能。

### 機能性カーテンレール



材質はアルミやスチールが中心。現場で曲げ加工ができるタイプや天井から吊棒で支えるもの（写真右上）もある。

### 当社カーテンレールの特徴（こだわり）

#### リングランナー

多くの装飾性カーテンレールに使用しているリングランナーにおいて、ヒートン部分（カーテンを吊るす部分）が回転する仕様を採用。カーテンのヒダが常に正面を向いているのできれいに収めることができます。また、インナーリング（ランナー内側の樹脂製リング）により、ランナー自体も正面を向いて並び、且つ、開閉時の滑走性と開閉音などを改善しました。

#### ■リングランナー

ヒートン部分が自由に回転するので、カーテンのヒダを正面に向けてきれいに収めることができます。

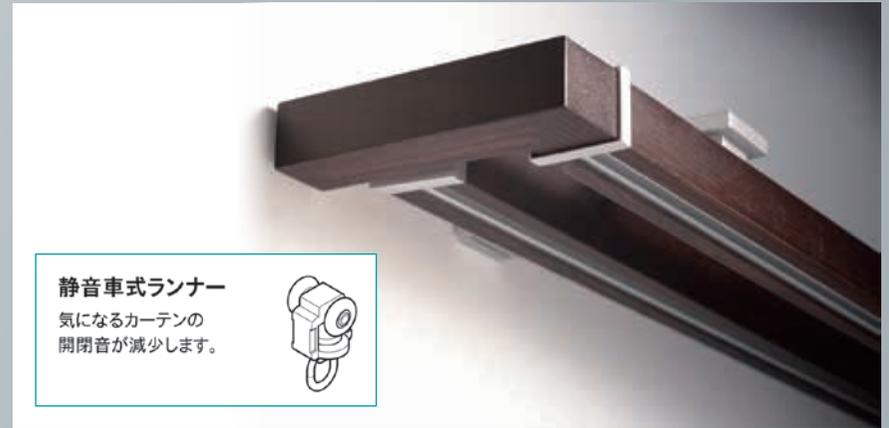


特殊インナーリングでリングが乱れず正面を向いて並びます。

特殊アセタール樹脂の採用で、滑走性と開閉音の問題を改善しました。

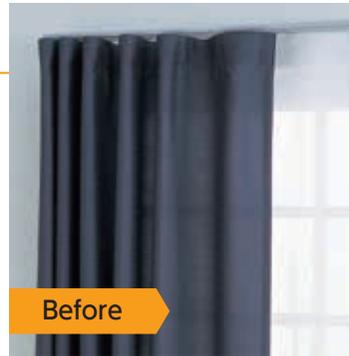
## ※ 最も静音性の優れた装飾性カーテンレール『コルティナ』

2007年グッドデザイン賞を受賞した『コルティナ』は、そのデザイン性の評価に加え、当社で最も静音性の優れた装飾性カーテンレール。アルミ製のカーテンレール表面に天然木を貼り付け、また、静音タイプの車式ランナーを採用することで、一般のカーテンレールと比較すると約60%程度の静音性を実現。



## カーテンストッパー

カーテンを開けた時に生地が反発で閉まってしまうカーテンをマグネットによって固定することが可能なカーテンストッパー。たたみ代をコンパクトにまとめることができ、開口部が広がります。



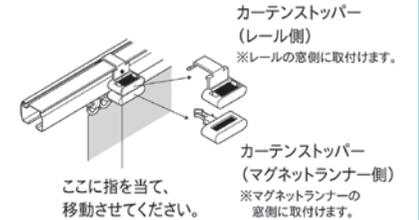
カーテンストッパーなし



カーテンストッパーあり

窓の開口部を広く確保できる部品「カーテンストッパー」(PAT.P) で、生地や芯地の反発で閉まってしまうカーテンでも、いつもの操作でお好きな位置にとめられます。

※天井直付の場合は使用できません。



## カバートップ



## カバートップ

カーテン上部の隙間を塞ぐカバートップをカーテンレールに取り付けることで、上部からの光漏れを抑えます。また、空気の流入を防ぎ、省エネ効果を高めます。

リターンカーテンと組み合わせて側部の隙間も塞ぐことで、より効果が高まります。

## 4月 「TDYグリーンリモデルフェア2015」にコラボレーション企業として出展

『健康配慮』『長持ち住宅』『CO<sub>2</sub>削減』をコンセプトに、事業領域の異なるTOTO株式会社、大建工業株式会社(DAIKEN)、YKK AP株式会社の3社が共同で開催する「TDYグリーンリモデルフェア2015」にコラボレーション企業として出展しました。

この展示会は、いまま楽しい、将来も楽しい住まい・暮らしの提案を実際に体験できる内容となっており、当社は『インテリアから暮らしを楽しく』をブーステーマとして、デザイン性や機能性に優れた窓周り製品を実際の部屋別シーン事例として展示し、日々の生活を豊かに楽しくする空間作りの提案をおこないました。



## 新製品展示会「ウインドウファッションフェア2015」を開催

6月

インテリア業界関係者向けの展示会「ウインドウファッションフェア2015」を今年も全国24ヶ所で開催しました。「ウインドウファッションフェア」は、製品を実際に見て触れてもらい、素材感や操作性などを体感できる機会を増やすことを目的として毎年開催しており、今回で13回目となりました。今年は『住宅から非住宅まで幅広く対応するデザイン性・機能性・安全性に優れた製品の提案』をコンセプトとし、7月発売のカーテンレール新製品を中心にカーテンとのコーディネート事例や、DIYなどで人気が高まりつつあるピクチャーレールのさまざまな使い方などを展示。同時に開催したインテリアセミナーでは『プロから学ぶインテリア写真の撮り方 ~基本+αのテクニックで美しい仕上がり~』をテーマに、施工写真を撮影する際の構図の決め方や明るさの調整など、実際に役立つテクニックを分かりやすく紹介しました。この展示会を通じて、豊富な窓周り製品を持つ当社の総合力をアピールし、一層の売上拡大に繋げていきたいと考えております。

## 8月 DIY産業向け展示会「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2015」へ出展

国内外のDIY・ホームセンター関連商品を一堂に展示し、業界の健全な振興・総合的發展を推進する展示会「JAPAN DIY HOMECENTER SHOW 2015」に出展しました。当社は、一般生活者自身で簡単に取り付けが可能な住宅向けピクチャーレールの提案などをおこないました。



## 8月 「日経IR・投資フェア2015」へ出展

東京ビッグサイトにて開催された個人投資家向けIRイベント「日経IR・投資フェア2015」(主催:日本経済新聞社)に出展しました。会場には2日間で16,000人を超える個人投資家の方々が来場され、当社は展示ブース内で事業内容や中期展望などの説明をおこないました。今後も当社の企業価値向上に向けた有意義な情報を発信できるようにIR活動をおこなってまいります。



# 株主優待制度のご案内／株主配当のお知らせ

## 株主優待

当社では、株主様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、株主数の増加を図ることを目的に株主優待制度を設けています。

## 株主優待割当基準日 3月末日

ギフトカタログに記載された旬の食材や生活用品などの中から、お好みの品物を1点お選びいただけます。また、環境保全活動の一環としてインドネシア共和国における植林活動への寄付も設けています。

### 10単元(1,000株)以上

### 3,000円相当の優待品



### 1単元(100株)以上

### 1,000円相当の優待品



※対象株主様：毎年3月末日現在の株主名簿に記載された1単元（100株）以上保有の株主様を対象といたします。  
 なお、2015年3月末日を割当基準日とする株主優待は、2015年9月末日をもってお申し込み受付を終了させていただいております。

## 株主配当

### 配当方針

当社は、上場企業として株主の皆様への利益還元は重要な責務であり、安定的な配当の継続を重視しつつ、業績および今後の設備投資計画などを勘案して利益配分をおこないたいと考えております。

今後とも収益力向上と財務体質の強化を図り、利益還元に努めてまいりますので、株主の皆様には一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ■1株あたり配当金の推移

	第75期 (2015年3月期)	第76期 (2016年3月期)
中間配当金	5円	5円
期末配当金	5円	5円(予定)
合計(年間)	10円	10円(予定)

## インドネシア共和国における植林活動へ504,000円を寄付

第71期（2011年3月期）より、株主優待制度に当社子会社の所在地であるインドネシア共和国における「植林活動への寄付」を設けております。

お申し込みいただきました皆様には、厚くお礼申し上げます。株主優待制度にお申し込みいただかなかった方々の優待相当金額と合わせて、当期は合計504,000円を寄付させて

いただきます。植林活動は2015年12月頃を予定しており、実施報告につきましては「第76期（2016年3月期）のご報告」にてお知らせいたします。

インドネシア共和国における植林活動実績  
 累計本数 10,000本 (2015年3月末日現在)

※株主の皆様による寄付および当社の植林活動を含めた実績です。



# 連結財務諸表 (要旨)

# Consolidated Financial Statements

※連結財務諸表の数値は百万円以下を切り捨てて表示しています  
(単位: 百万円)

## 中間連結貸借対照表

### POINT 1 資産の部 変動要因

資産合計は前期末と比較して、386百万円減少し、21,090百万円となりました。

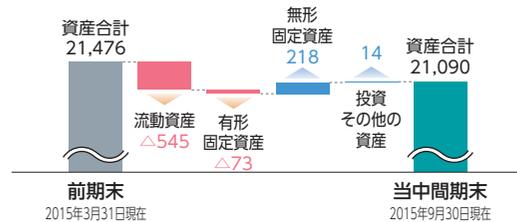
●流動資産は545百万円減少しました。

要因 現金及び預金、ソフトウェアの開発による無形固定資産等は増加したものの、受取手形及び売掛金等が減少

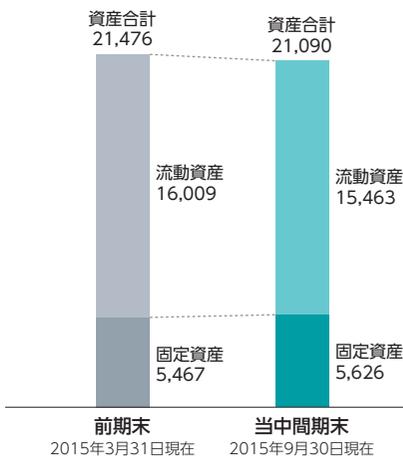
●固定資産は159百万円増加しました。

要因 無形固定資産の増加など

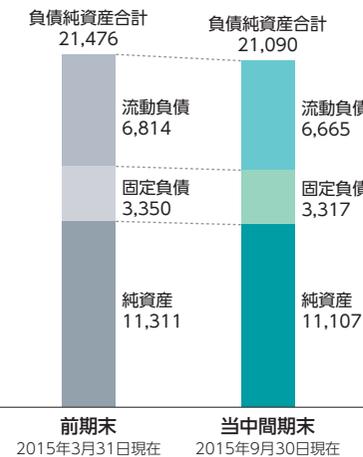
流動比率は、232.0%と高水準を維持しています。



### 資産の部



### 負債・純資産の部



### POINT 2 負債・純資産の部 変動要因

負債合計は前期末と比較して182百万円減少し、9,983百万円となりました。

●流動負債は149百万円減少しました。

要因 支払手形及び買掛金、未払金の減少など

●固定負債は32百万円減少しました。

要因 役員退職慰労引当金の減少など

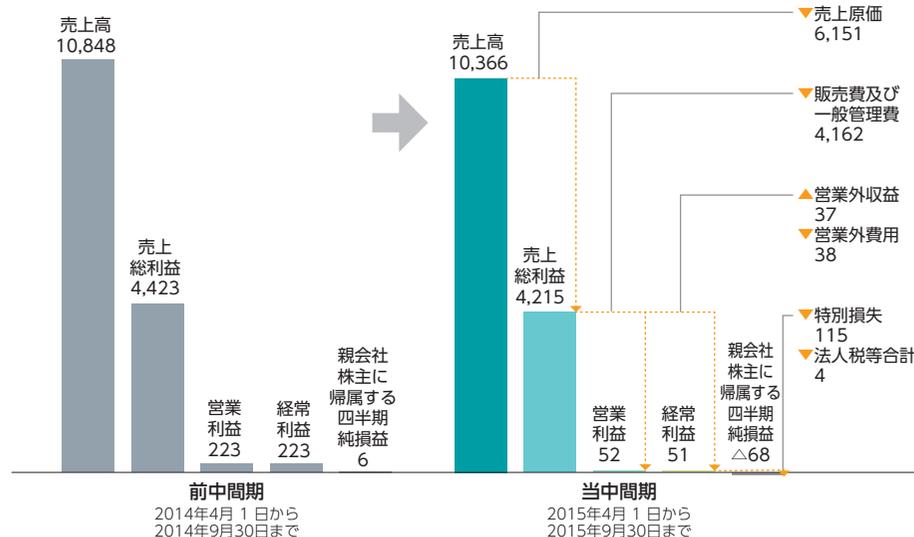
自己資本比率は、前期末と変わらず、52.5%となりました。



(単位: 百万円)

(単位: 百万円)

## 中間連結損益計算書



### POINT 3 営業利益 変動要因

営業利益は前年同期比76.6%減の52百万円となりました。

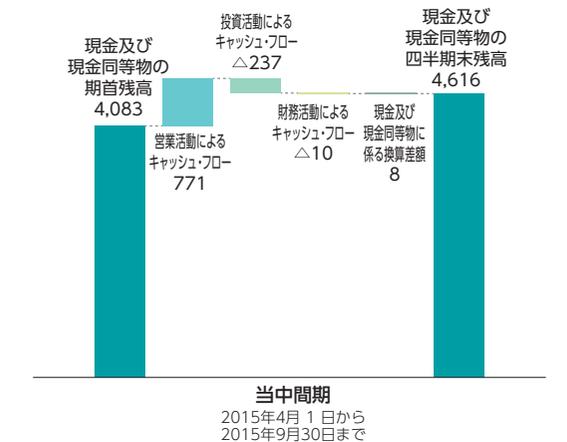
要因 物流費用の減少などにより販売費及び一般管理費は減少したものの、住宅市場の回復遅れや販売機会の喪失などにより売上高が減少したことが影響

### POINT 4 親会社株主に帰属する四半期純損失 変動要因

親会社株主に帰属する四半期純損失は68百万円の損失となりました。

要因 平成27年9月の台風18号の影響による鬼怒川決壊により、協力工場の一部の生産設備および資材が冠水する被害を受け、「災害による損失」として特別損失113百万円を計上

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書



詳細な情報は  
こちら

TOSO IR資料

検索

# 会社概要 (2015年9月30日現在)

会社名 トーソー株式会社  
 英文社名 TOSO CO.,LTD.  
 本社所在地 〒104-0033  
 東京都中央区新川一丁目4番9号

電話 03(3552)1211(代)

設立 1949年9月

資本金 11億7,000万円

主な事業内容 インテリア製品の開発、製造、販売  
 国土交通大臣許可内装仕上工事業(般-23)第16989号  
 ISO9001認証取得:JQA-QM5920製造本部/商品開発本部/品質保証部  
 ISO14001認証取得:JQA-EM2416つくば事業場/水海道事業場

従業員数 連結958名 単体557名

## 【役員】

### 《取締役・監査役》

代表取締役社長	大槻 保人 (オオツキ ヤスト)
取締役	前川 圭二 (マエカワ ケイジ)
取締役	結束 正 (ケツク タダシ)
取締役	庄中 基秋 (ショウナカ モトアキ)
取締役	渡辺 文生 (ワタナベ フミオ)
取締役	林 淳之 (ハヤシ アツユキ)
取締役	久保田 英司 (クボタ エイジ)
社外取締役	加瀬 兼司 (カセ ケンジ)
常勤監査役	森 兼康 博 (モリカネ ヤスヒロ)
監査役	山井 潤一 (ヤマイ ジュンイチ)
監査役	久保 英幸 (クボ ヒデユキ)
監査役	江角 英樹 (エスミ ヒデキ)

(注) 監査役久保英幸氏および監査役江角英樹氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

### 《執行役員》

執行役員	八重島 真人 (ヤエシマ マコト)
執行役員	本多 敏光 (ホンダ トシミツ)
執行役員	伊藤 健一 (イトウ ケンイチ)

## 【事業拠点一覧】

営業拠点 札幌支店、仙台支店、さいたま支店、  
 東京支店、横浜支店、名古屋支店、大阪支店、  
 広島支店、福岡支店  
 営業所15ヶ所

国内工場 つくば工場(茨城県)、水海道工場(茨城県)、  
 兵庫工場(兵庫県)

物流拠点 流通センター(茨城県)、  
 流通センター(兵庫県)、札幌配送センター、  
 福岡配送センター

ショールーム トーソープラザ  
 (東京ショールーム、大阪ショールーム)

連結子会社 サイレントグリス株式会社  
 トーソーサービス株式会社  
 フジホーム株式会社  
 トーソー流通サービス株式会社  
 P.T.トーソー・インダストリー・インドネシア  
 東装窗飾(上海)有限公司  
 トーソーヨーロッパS.A.S.



# 株式情報 (2015年9月30日現在)

発行可能株式総数 30,000,000株  
 発行済株式の総数 11,897,600株  
 株主数 6,730名

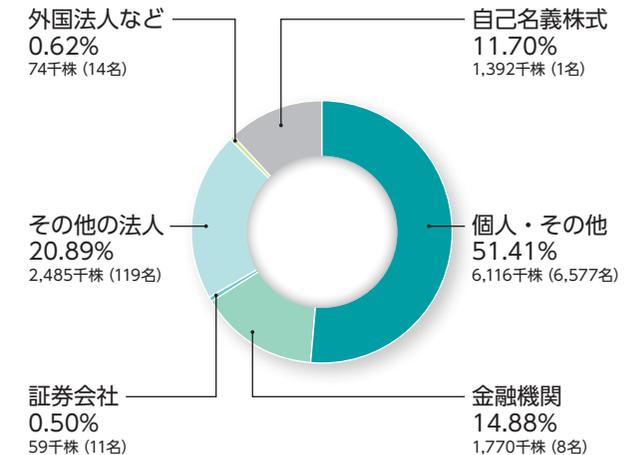
## 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
大槻 保人	1,423	11.93
トーソー取引先持株会	552	4.64
トーソー社員持株会	496	4.17
株式会社みずほ銀行	458	3.85
十和運送株式会社	354	2.98
株式会社三菱東京UFJ銀行	338	2.84
第一生命保険株式会社	222	1.86
株式会社東京都民銀行	216	1.82
株式会社常陽銀行	215	1.80
大槻 秀人	205	1.72

(注1) 持株数は千株未満を、持株比率は小数点第2位未満をそれぞれ切り捨てて表示しております。

(注2) 当社は自己株式1,392千株を保有しております。

## 所有者別分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月末日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所市場第二部
公告方法	電子公告

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する。

ホームページアドレス <http://www.toso.co.jp>

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社  
東京都中央区八重洲一丁目2番1号

同 連 絡 先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

0120-288-324 (フリーダイヤル)

取次事務はみずほ信託銀行株式会社 (トラストラウンジを除く)、株式会社みずほ銀行、みずほ証券株式会社 (カスタマープラザを除く) の各本店および営業所でおこなっています。

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

同 連 絡 先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

0120-782-031 (フリーダイヤル)

## 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。

## 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しています「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告をおこなう際には、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にておこなわれます。確定申告をおこなう際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいています。確定申告をされる株主様は大切に保管してください。

(表紙写真)

カーテンレール

「レガートグラン」(ウォールナット)

# トソー株式会社

〒104-0033 東京都中央区新川一丁目4番9号

<http://www.toso.co.jp>

証券コード：5956



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。